

コーディネーターだより

NO.2

2020.6.17 大宮ろう学園

特別支援教育コーディネーター
<sien@ohmiya-sd.spec.ed.jp>

巡回教育相談を実施しました！

子供たちの登校が少しずつ始まり、学校に活気とエネルギーが少しずつ戻ってきました。本格的な学習の再開に向けて、子供たち一人ひとりに合った支援に努めていきたいと思っております。

校内支援のひとつとして、巡回教育相談を実施しました。塙保己一学園の先生にご来校いただき、「見え方」「見えにくさに対応する指導方法・教材教具」について、アドバイスをいただきました。その中の一部をご紹介します。



★文房具★ 弱視用の定規は黒地に白で目盛りが打ってあり、目盛りには膨らみがあるので触っても確認できます。現在では、「ユニバーサルデザイン」の文房具が様々なところで購入できます。中央の写真の拡大ルーペもホームセンターで購入できるそうです。(弱視用レンズやルーペより安価) ある障害への対応に特化した物でなくても、子供にとって使いやすいものは意外と身の回りに隠れているかもしれません。

★教材★ 右の写真は、漢字をパーツに分けて覚えるカードです。最近、ある芸人さんが似たような方法で漢字の書き方を説明して話題になっていました。これも、見えにくさだけに対する支援だけではなく、様々な人にとって一つの学習方法となり得るもの(ユニバーサルデザイン)だと思います。他にも、筆順辞典というアプリや必要な情報に絞った地図帳も紹介していただき、誰にとっても使いやすく見やすいものでした。



★書見台★ 塙保己一学園から書見台という補助具を借用し、使用したことで、見るときの姿勢が大きく改善しました。姿勢が良い→疲れない→集中力UPという良いサイクルが生まれそうです。

★iPad★ 板書を書き写す代わりにカメラで撮ったり、カメラモードやアプリを利用して遠くの物を拡大して見たりすることができます。

ユニバーサルデザインやICT機器の活用が推進され、子供たちの学習の助けとなる教材・教具は、今後更に増えていくと思っております。教材・教具やICT機器を導入することがゴールだと思わず、常に子どもたちが何を学び・何を身につけるかを念頭に置いて、支援・指導をしていければと思います。

※今年度の支援籍学習(さいたま市:交流及び共同学習)は、2学期より実施予定です。
ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

